

# KCユカマスS 標準施工法

## ●お守りください

お守りいただく内容の種類を右の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい  
「注意喚起」の内容です。



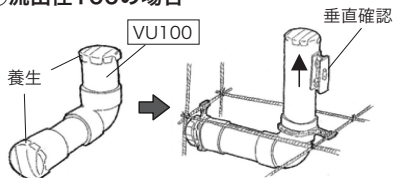
行ってはいけない  
「禁止」の内容です。



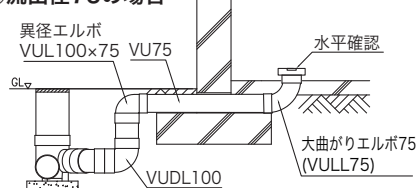
必ず実行していただく  
「強制」の内容です。

## 1 基礎貫通部排水管の設置

### ① 流出径100の場合



### ② 流出径75の場合



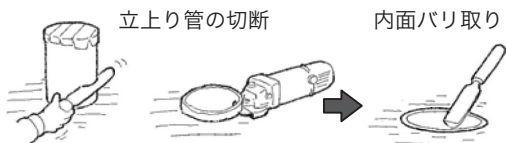
- 排水管の両端を養生してください。
- 流出径100の場合、VU100立上り管が垂直となるように、排水管を鉄筋等にしっかり固定してください。
- 流出径75の場合、VULL75の上面が水平となるよう、排水管を鉄筋等にしっかり固定してください。

❗ コンクリート打設時に排水管が傾くとKCユカマスSの水平がとれません。排水管が移動しないようコンクリートを打設してください。

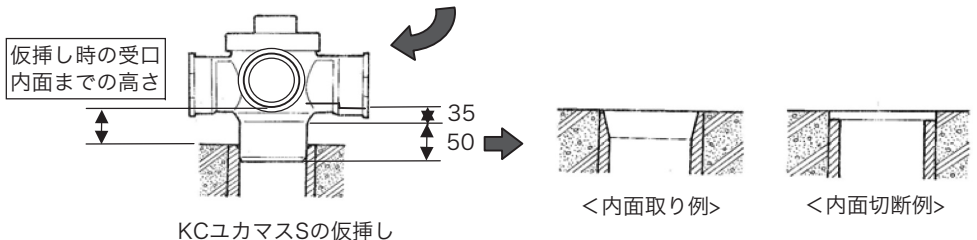
❗ 流出径100の場合、排水管は必ずクボタケミックス製VU100を使用してください。VP100は接合できません。

❗ 流出径75の場合、KCユカマスS下流側の継手は必ずVULL75を使用し、宅地ますへの接続は異径エルボVUL100x75でφ100に拡張してください。深基礎の場合はKCユカマスSの流出口にVUDS75を接合し、VU75を介してVULL75に接続してください。

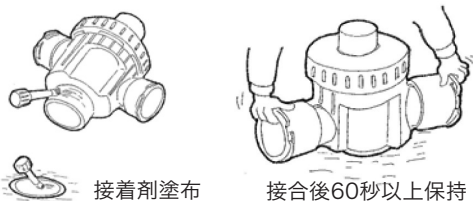
## 2 立上り管端部の切断・仕上げ (流出径100の場合)



- 立上り管を基礎天端で管軸に対して垂直に切断、バリ取りを行ってください。
- KCユカマスSを仮挿しして受口内面までの高さを測ってください。
- 仮挿し時の受口内面までの高さが45~50mmとなるように立上り管の内面処理を行ってください。



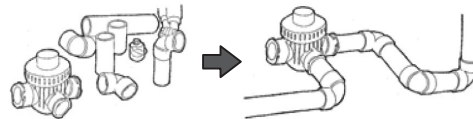
## 3 KCユカマスSの接続



- 基礎貫通排水管の上流側内面 (VULL75、VUDS75の受口内面、またはVU100の内面) とKCユカマスS流出口外面に接着剤を塗りムラや塗りもれのないように円周方向に薄く均一に塗布してください。
- KCユカマスSが水平となるよう排水管の上流側に接合し60秒以上保持してください。

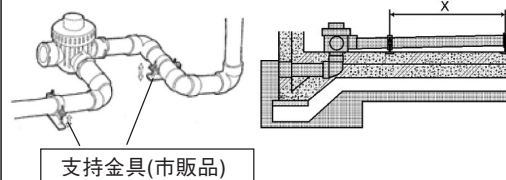
❗ 叩き込んで接合しないでください。

## 4 排水枝管の接続



- KCユカマスSと排水枝管を接着接合してください。
- KCユカマスSに接続する管は、VU75をご使用ください。VU50を接続する場合は、異径継手75x50をご使用ください。(管、継手はクボタケミックス製をご使用ください)
- 排水枝管を接続しないKCユカマスS受口には、専用キャップ (別売) を本紙裏面記載の手順で取り付けてください。

## 5 管の支持固定

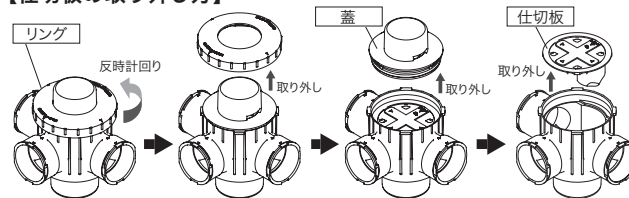


- 排水枝管は下表の支持間隔・勾配を目安に支持固定してください。

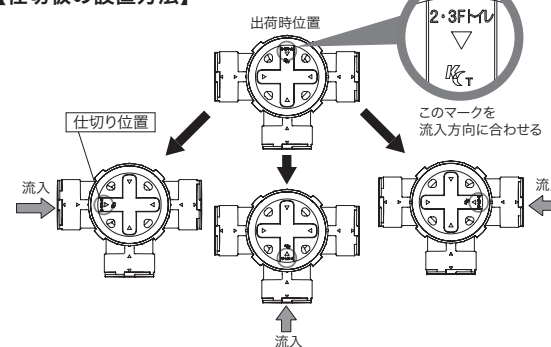
呼び径	50	75
支持間隔		
1 箇所目	KC ユカマスS付近	
2 箇所目 (X)	1.2m以内	1.5m以内
呼び径	50	75
勾配	1/50以上	1/100以上

## 6 仕切板の設置

### 【仕切板の取り外し方】



### 【仕切板の設置方法】

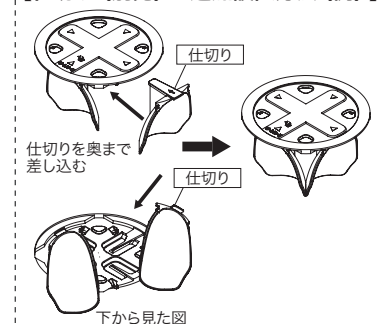


- 2Fトイレまたは3Fトイレ配管を接続する場合はKCユカマスS内部の仕切板を一旦取り外し、仕切りの位置を流入方向に合わせてください。
- 難排水および6L以下の1Fトイレ配管の場合、仕切板の位置変更は不要です。
- リフォームの際には必ずトイレの容量を確認し、仕切りの要、不要を判断してください。

- 2Fトイレと3Fトイレを同時に接続する場合は仕切り (別売) を追加設置してください。

- 1Fに8Lトイレを接続する場合は2F、3Fトイレに加えて、1Fトイレを接続する側にも仕切りを設置してください。

### 【仕切り (別売) の追加設置方法 (例)】



❗ 汚水が越流しますので仕切りが必要な箇所には必ず設置してください。

裏面 (注意事項・設計の留意事項) をご覧ください

